

牡鹿地区

寄磯診療所

☎48-2111

診療科目 内科
患者延べ数 3,940人



寄磯診療所長 富永 忠弘先生

電子カルテを通じて、医療へき地の解消を

寄磯浜は、旧牡鹿町の東北端に位置し、町中心部まで車で30分のへき地です。そのために医師常駐を要し、戦後、開業医が去った後、昭和34年、町立診療所として開設されました。一般にへき地診療所には、交通事情改善による、役割軽減がある反面、高齢・過疎化の進行に平行し、地域密着型医療のニーズが高まり、今後の強化・存続が望まれるという矛盾があります。在任10年この間、地域の健康教育にも力を注ぎ、「一病息災、浜でも里でも、正・続・完」の三小冊子を刊行、配布して来しました。また、電子カルテを通じて、将来、地域中核病院と結び、「医療へき地の解消」をも目指しています。

河北地区

河北歯科診療所

☎62-3208

診療科目 一般歯科
患者延べ数 4,331人



河北歯科診療所長 及川 ^{みつる} 充先生

明るい対応と患者さんのニーズを第一に

診療科目は一般歯科で、予約は随時、急患に即応しています。明るい対応と、患者さんの希望に添った治療を第一に心がけていますので、要望や不安なことがありましたら気軽にお尋ねください。皆で新生石巻市が、元気が出るよう頑張っていきましょう。

石巻地区

夜間急患センター

☎94-5111

診療科目 内科・外科・小児科
患者延べ数 16,108人



夜間急患センター所長 佐藤 ^{ひろと} 仁人先生

急患センターは初期救急医療機関

夜間急患センターはすでに18年の歴史があります。現在でも年中無休で夜間の初期救急を行っているのは、県内で仙台市以外に当センターしかありません。これも、東北大学および地元医師会の先生方のボランティア的精神により何とか維持できているにすぎません。最近は生活様式の変化などにより急患センターのコンビニ化、夜間診療所化が全国的に問題になっています。今後当センターが継続できるためにも、市民の皆さんには、当センターはあくまでも初期の救急を行う医療機関であることを理解していただきたいと思ひます。

※患者数は平成16年度実績

—— 未来のために、地球のために、新石巻市のために ——

チーム・マイナス6% みんなで止めよう温暖化

「チーム・マイナス6%」とは？

深刻な問題となっている地球温暖化。この解決のために世界が協力して作った京都議定書で、温暖化ガスの削減が義務化されました。日本の目標は、温室効果ガスを1990年に比べて6%削減することです。これを実現するための全員参加型プロジェクト、それがチーム・マイナス6%です。



みんなですべて止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

毎日の暮らしや職場の中で、一人ひとりのちょっとした気遣いや心がけで確実に温暖化ガス(CO²)を削減することができます。温暖化防止は決して難しいことはありません。まず、身近でできることから取り組んで実践していきましょう。

◆6つの具体的な温暖化防止の行動◆

- 冷房は28℃に設定しましょう。(自分の部屋やオフィスを冷やしすぎないこと)
- 蛇口をこまめにしめましょう。(歯磨き中の水道は止めること)
- エコ商品を選んで買いましょう。(商品の選び方に配慮すること)
- アイドリングをなくしましょう。(自動車の使い方に気をつけること)
- 過剰包装を断りましょう。(お買い物の際にスーパー袋を断ること)
- コンセントをこまめに抜きましょう。(電気をこまめに切ること)



CO²削減のために、「チーム・マイナス6%」に参加してください。

＜お問い合わせ先＞

「チーム・マイナス6%」運営事務局

☎03-3573-4026

<http://www.team-6.jp>

○みんなで一つの“チーム”となって、皆様の積極的な行動で地球の温暖化を防止しましょう。

∞∞∞∞ 石巻市は「チーム・マイナス6%」に参加しています ∞∞∞∞

＜市の温暖化防止の具体的な取り組み一例＞

- ★職員によるノーマーカーデーの実施
(月2回実施しています)
- ★用紙使用量の削減
(資料などはすべて両面コピーで対応しています)
- ★古紙回収ボックスの設置
(使用済みのメモ用紙までも再資源にしています)
- ★グリーン購入の推進
(環境負荷の少ない製品を購入し使用しています)
- ★ゴミの削減
(平成18年4月より一般家庭による「^{ざつがみ}雑紙類の分別収集」が開始されます)



環境フェア2005

☎ 環境対策課 (内線263・264)